

2019年度【福岡地区】

登録 A L C 基幹技能者講習 修了試験  
問 題

1. 試験時間：60分
2. 問題数：25問（四者択一式：「最も不適當」な選択肢を選ぶ）

一般社団法人 A L C 協会

**問題 1 登録基幹技能者制度に関して、最も不適当なものはどれか。**

- 1 基幹技能者制度は、建設省が平成7年4月に策定した「建設産業政策大綱」において『新たな技能者像』として基幹技能者を重点的に確保育成できるようにすることが求められるようになった。
- 2 基幹技能者制度は、平成8年に専門工事業団体による民間資格としてスタートした。
- 3 平成19年に中央建設業審議会において「法令に基づく制度化を前提に、基幹技能者を優遇」することが承認された。
- 4 国土交通大臣が登録した機関が実施する登録基幹技能者講習の修了者は、登録基幹技能者として認められ、経営事項審査においても加点評価（20点）の対象となった。

**問題 2 技能者の呼称の内容に関して、最も不適当なものはどれか。**

- 1 補助者として、上司の直接的指揮・指導の下、安全に作業できるものを見習いという。
- 2 業種に応じた資格を有し、上司の指導に基づき部下を指示し、自らも技能を発揮し、安全に直接的施工にあたるものを中堅技能者という。
- 3 業種に応じた資格を有し、優れた直接的施工能力を持ち、担当工事現場の責任者として工程・施工・安全等の管理と作業の指揮・指導を行う、登録基幹技能者になり得る資格を有するものを職長という。
- 4 現場をまとめることはもとより、生産性の向上、品質、コスト、安全の確保など多岐にわたり役割を果たす上級職長を施工管理技術者という。

**問題 3 登録基幹技能者制度の概要に関して、最も不適当なものはどれか。**

- 1 国土交通大臣の登録を受けた機関が実施する登録基幹技能者講習の修了者は、登録基幹技能者として認められ、経営事項審査においても評価の対象となる。
- 2 近年、公共工事の「総合評価方式」での加点対象項目及び元請企業の「優良技能者認定制度」での要件としても活用されている。
- 3 登録基幹技能者は、熟達した作業能力よりも、高度な知識を備えた専門工事業団体の資格認定を受けた相談役である。
- 4 登録基幹技能者の活用により、登録基幹技能者の確保・育成に努める優良な専門工事業者の受注機会の拡大、さらにはそれを通じた建設業界の担い手の確保・育成に大きく寄与することが期待されている。

**問題 4 登録基幹技能者による工事の品質向上や建設業界の担い手の確保・育成寄与に関して、最も不適当なものはどれか。**

- 1 制度の認知度の向上
- 2 10年毎更新による能力水準の確保
- 3 有資格者数の不足、地域偏在性の解消
- 4 公共工事の総合評価方式や元請企業の優良技能者認定制度等における活用促進

問題5 国・都道府県の公共工事における評価・活用状況における発注者の声に関して、最も不適当なものはどれか。

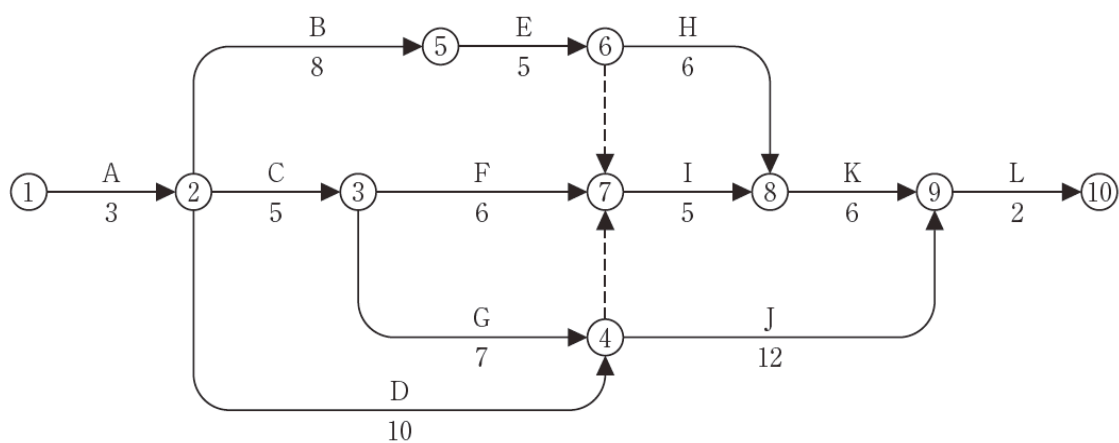
- 1 公共工事の品質確保やインフラの維持管理のため、登録基幹技能者制度は、見習い等の初級技能労働者のレベルアップにつながる。
- 2 登録基幹技能者となった技能労働者が若手の目標となり、担い手の育成にも寄与する。
- 3 登録基幹技能者制度のさらなる普及により認定者が増加し、地域差等が解消されれば、元請業者だけでなく、下請業者を含めて施工能力を評価する有効な評価指標となる。
- 4 技能者の中で登録基幹技能者を目指す環境を整える観点から、登録基幹技能者制度の認知度向上は、優良な技能者を育成する上で有効と考えられる。

問題6 OJT教育における指導方法に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 部下の技能者を育てるためには、表現を工夫してほめることが重要である。
- 2 思ったことを口に出して実行させる場合、部下に対して人前で叱る(しかる)ことも有効である。
- 3 部下を叱る決断は、部下の側に叱る原因があることをよく見定めてから行わなければならない。
- 4 部下を育てるためには、禁止型でなく奨励型で叱ることが有効である。

問題7 下図の工程表に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 この工程表における工事の工期は、30日である。
- 2 この工程表は、アロー型ネットワーク式工程表である。
- 3 この工程表のクリティカルパスは、A→C→F→I→K→Lである。
- 4 この工程表の矢線は、アクティビティ（作業）を示している。



**問題8 各種労働災害防止対策に関して、最も不適当なものはどれか。**

- 1 既存建築物は石綿が使用されているものも多く、その建築物の解体工事では石綿による健康障害防止対策を講じる必要がある。
- 2 熱中症予防対策として、BMI値（肥満度）を使用することが有効である。
- 3 リフォーム工事では、電気やガスなどが既に設置されているが、電気やガスを止めずに行うので感電やガス爆発など安全作業に支障をきたす危険がある。
- 4 高さ2m以上の所で、足場作業や鉄骨作業などを行う場合、作業床を設置し、これが困難な場合は、落下防止ネットを張り、作業員に安全帯を使用させる必要がある。

**問題9 特性要因図作成のためのブレインストーミング(BS)に関して、最も不適当なものはどれか。**

- 1 BSは、アレックス・F・オズボーンによって考案された会議方式のひとつである。
- 2 BSは、集団でアイデアを出し合うことによって相互交錯の連鎖反応や発想の誘発を期待する技法である。
- 3 アイデアの質にこだわり、アイデアを量産することは後回しにする。
- 4 誰かのアイデアに対してそこから連想されるもの、その他のアイデアとの結合を意識することで様々なアイデアへと発展させることができる。

**問題10 建設業法における施工体制台帳・施工体制図に関して、最も不適当なものはどれか。**

- 1 特定建設工事を施工するために締結した下請契約の請負代金の額の合計が4,000万円以上となる場合は、公共工事のみ施工体制台帳と施工体制図を作成する。
- 2 施工体制台帳は、一次、二次下請等の工事施工を請け負う全ての業者名、各業者の施工範囲、各業者の技術者氏名等を記載したものである。
- 3 公共工事を受注した建設業者が下請契約を締結するときは、その金額にかかわらず施工体制台帳を提出することが求められる。
- 4 施工体制図は、各下請負人の施工分担関係が一目で分かるようにしたものであり、施工分担関係を把握することができる。

**問題11 足場からの墜落防止対策強化に関して、最も不適当なものはどれか。**

- 1 高さ2m以上の構造の足場の組立等の際には、困難な場合を除き、幅40cm以上の作業床を設置する。
- 2 足場の組立て等の作業に従事する労働者には、特別教育は必要はない。
- 3 建設業の元請事業主等の注文者は、足場の組立て等の後は、次の作業を開始する前にその状態を点検し、危険のおそれがあるときは、速やかに修理しなければならない。
- 4 一側足場、つり足場を除く足場の作業床に関する墜落防止措置として、床材と建地との隙間を12cm未満とする。

**問題12 施工計画の目的に関して、最も不適当なものはどれか。**

- 1 利益を最優先する。
- 2 所定の工事期間内に無事故で施工する。
- 3 適切なコストで施工する。
- 4 良い品質を確保する。

**問題13 施工手順書の活用と効果に関して、最も不適当なものはどれか。**

- 1 作成した作業手順書は、関係作業員に周知徹底し、実践させることが重要である。
- 2 作業上、手戻りや不具合が生じた場合は、作業手順書を見直し、その原因となった部分を改善する。
- 3 作業手順書は、定期的に見直さなくともよい。
- 4 作業手順書を実践した後の効果を評価し、確認する。

**問題14 見積りの確認に関して、最も不適当なものはどれか。**

- 1 土質、周辺の確認、近隣協定、駐車場の有無等、施工に影響する現場条件を確認する。
- 2 設計図書での不明確な点や図面の相違点等を質疑によって明確にし、あいまいな見積りを行わない。
- 3 工事の着手時期や作業員の確保等は着工後に検討を行うので、指定された工程での見積りを優先する。
- 4 材料支給の有無、取り合い部の施工業者、書類の提出等、原価に直結する施工範囲を明確化する。

**問題15 専門工事業者の予算実績管理に関して、最も不適当なものはどれか。**

- 1 原価管理では、契約した工事がスムーズに行くように先を見通して元請と打合せする。
- 2 他の外注業者との調整も必要になり、作業が滞ったり手戻りとなったりすれば、人工がかかって原価を圧迫してしまうことになる。
- 3 元請との随時打合せを怠ることは注意しなければならないが、追加工事については最終的にまとめて打合せするとよい。
- 4 毎日の作業日報で契約内と契約外工事を明確にしておくとともに、毎週あるいは毎月とりまとめて元請に提出することが必要である。

問題16 設計品質と施工品質に関して、最も不適当なものはどれか。

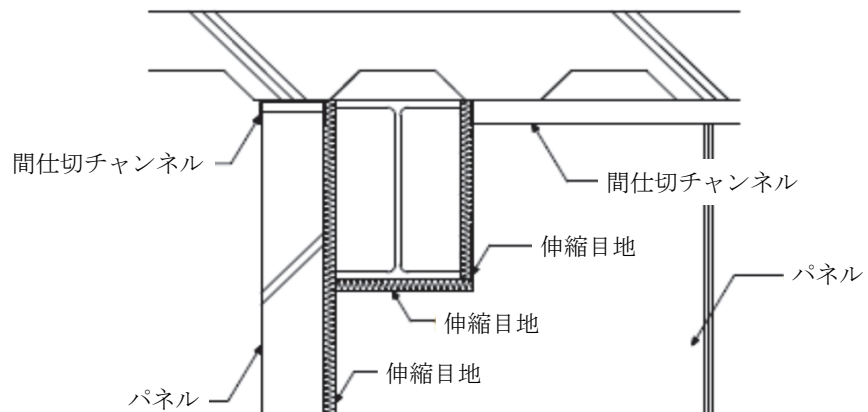
- 1 品質には設計段階で定められる「ねらいの品質」である設計品質と、施工段階で実現する「出来ばえの品質」である施工品質がある。
- 2 発注者を始めとして、建設コンサルタント、設計・監理者、総合工事業者、専門工事業者、材料供給業者間で品質の考え方の共有が必要である。
- 3 設計品質の内容と決め方には、「仕様規定」と「性能規定」がある。
- 4 「仕様規定」は、求める品質がより具体的に表現され、その成否も明快であり、また、施工に関わる技術革新や経済・社会の変化への柔軟な対応が容易である。

問題17 品質保証とISO 9001に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 専門工事業者では、品質マネジメントシステムの国際規格であるISO 9001の認証を受ける企業が多くなっている。
- 2 ISO 9001は、製品の品質を担保、保証するシステムを事前に文書化して、それに対して第三者から認証を受け、それを消費者に開示する仕組みである。
- 3 品質保証のための企業活動の内容を、発注者、社会全体に文章等で「見える化」する方向性は、今後も強まることが予想されている。
- 4 登録基幹技能者には、ISO 9001に関する文書の作成やそれを使いこなす知識までは求められていない。

問題18 ALCパネルとALCパネルを貫通する梁の外周との間の伸縮目地の幅寸法に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 5 mm
- 2 10 mm
- 3 15 mm
- 4 20 mm



問題19 敷設筋(ふせつきん)構法における屋根用ALCパネルの取付けに関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 セメントモルタルによる水勾配は、セメントモルタルの乾燥収縮による防水層の破断や仕上げ荷重が大きくなってしまうなどの問題があるため、避ける必要がある。
- 2 パネルの取付けは、3辺で支持することがないように、短辺部の下地をかさ上げするか、長辺部の下地を下げるなどの措置が必要である。
- 3 パネルの割付けは、水勾配に対し、短辺が直角方向となるようにし、パネルのたわみによって水がたまらないように割り付ける必要がある。
- 4 屋根面に集中荷重が作用する部分では、その直下にパネル受け梁を設け、かつ3点支持とならないようにパネルを分割する必要がある。

問題20 ALCパネルについての記述に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 ALCとは、Autoclaved Lightweight aerated Concreteの略である。
- 2 JASS 21が対象としているパネルは、JIS A 5416に規定する厚さ75mm以上の厚形パネルである。
- 3 パネルの種類には、小口面の形状により一般パネルとコーナーパネルがある。
- 4 パネルの表面に意匠加工を施したものを意匠パネル、意匠加工の無いものを無加工パネルという。

問題21 施工計画を立案する上で、ALCパネル工事に含まれる項目に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 パネルの揚重・運搬・仮置き
- 2 パネルの切断
- 3 足場等の仮設
- 4 パネル割付けの墨出し

問題22 ALCパネル工事の完了検査の項目に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 パネルの取付け検査
- 2 シーリング材の外観検査
- 3 パネル全体の外観検査
- 4 パネル廃材の処理状況検査

問題23 耐火構造に要求される性能に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 非損傷性
- 2 遮熱性
- 3 軽量性
- 4 遮炎性

問題24 ALCパネルの種類と寸法の説明に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 外壁用パネルの最も薄い厚さは、120mmである。
- 2 パネル幅の標準は、600mmである。
- 3 屋根用パネルの最大支点間距離は、パネル厚さの30倍である。
- 4 床用パネルの最大支点間距離は、パネル厚さの25倍である。

問題25 外壁用ALCパネルのシーリング材の説明に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 雨がかりとなる外壁用パネル間の目地部には、シーリング材を充填する。
- 2 パネル間の目地部に用いるシーリング材は、モジュラスの低いものを選定することが望ましい。
- 3 ポリウレタン系は、変成シリコーン系より耐候性が優れるため、屋外における露出箇所での使用に適している。
- 4 シーリング材の充填に先立ち、パネルの被着面をプライマー処理することが必要である。